



2024年3月29日

## 木地光設備有限会社との

### サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

岐阜信用金庫（理事長 好岡 政宏）は、脱炭素化社会実現に向けた取り組みの一環として木地光設備有限会社（代表取締役 木地光 崇量）と、「ぎふしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下、ぎふしんSLL）<sup>\*1</sup>」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

ぎふしんSLLは、達成すべき目標を二酸化炭素（CO2）排出量の削減に限定し、脱炭素化に取り組む地域企業を資金調達面と脱炭素化に向けたアドバイス・サポート面で支援するものです。

岐阜信用金庫は、地域金融機関としての責任を果たしつつ、地域のお客さまとともに脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

記

#### 【契約内容】

実行日	2024年3月29日
融資金額	50百万円
期間	7年
資金使途	事業資金

#### 【企業概要】

企業名	木地光設備有限会社
所在地	岐阜県岐阜市日野西1丁目5-1
代表者	木地光 崇量
事業内容	水道工事
資本金	10百万円
設立	1999年7月8日

以上

### ※1 ぎふしんサステナビリティ・リンク・ローン

本商品は、サステナビリティ・リンク・ローン原則<sup>※2</sup>等に基づき、脱炭素（カーボンニュートラル）に特化したローン商品であり、地域事業者の脱炭素経営のすそ野を広げ、お客さまと共に脱炭素社会の実現に貢献していくことを目指します。

なお、地域の中小企業においては、自社の脱炭素の取り組みについて各種認証の取得や第三者の客観的な評価を得ることへの負担が大きいという課題があることから、岐阜信用金庫では、お客様のCO2排出量の測定やレポートを低負担で行える「サステナビリティ・リンク・ローン」のフレームワークを開発しております。

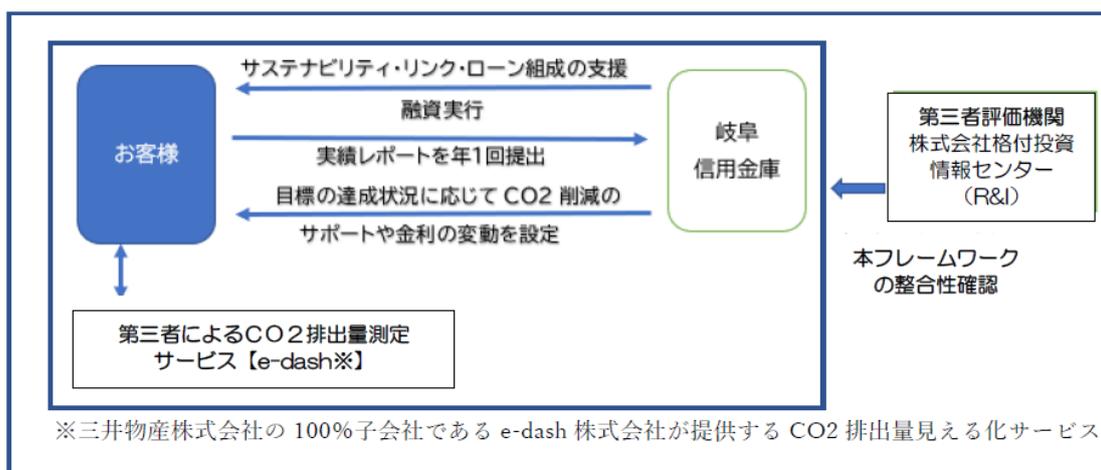
岐阜信用金庫は、このフレームワークによりCO2排出量の削減目標と実績の評価を適切に行うことで、お客さまの脱炭素に関する取り組みの見える化を支援いたします。

なお、当金庫が策定したサステナビリティ・リンク・ローン融資フレームワークは、信用金庫業界では初めて、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）よりサステナビリティ・リンク・ローン原則等に整合しているとの確認を取得しております。

### ※2 サステナビリティ・リンク・ローン原則

サステナビリティ・リンク・ローンは、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促し、支援することを目指すものとして、世界的な金融機関の代表で構成される作業部会によって策定された原則。

#### □スキーム図



2024年3月29日

## 木地光設備有限会社

### ぎふしん サステナビリティ・リンク・ローンの取り組みについて

岐阜信用金庫  
ソリューション営業部

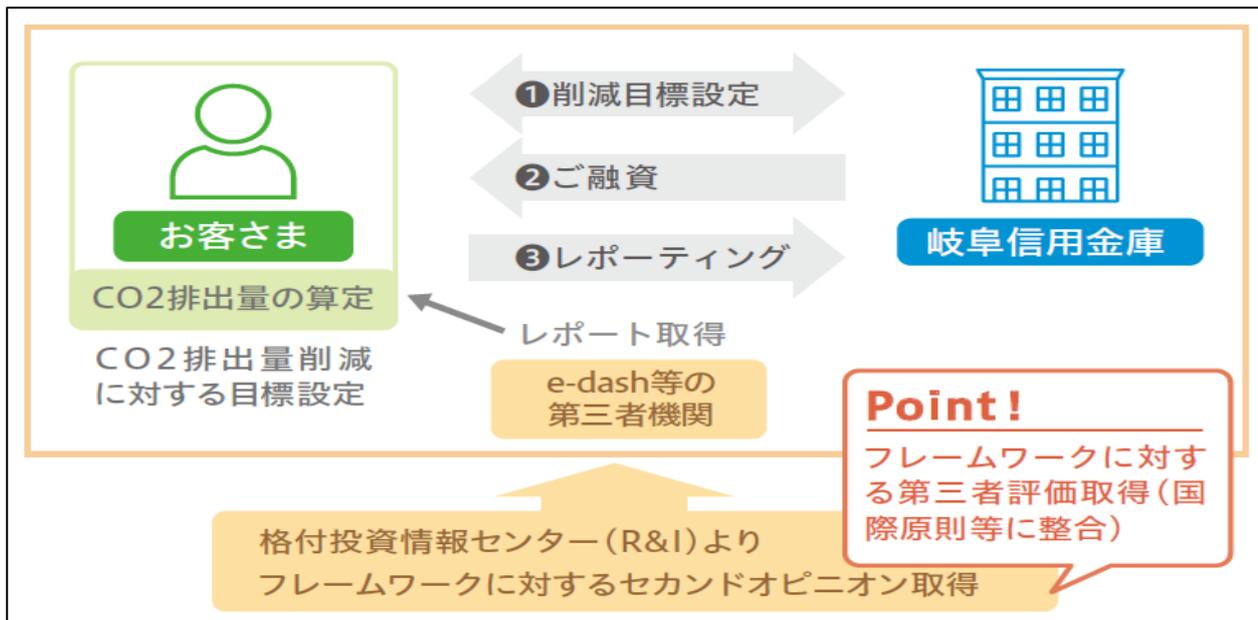
岐阜信用金庫は、2023年3月7日、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、CO2排出量（総量又は原単位ベース）の削減率をKPIとして策定した融資フレームワーク「ぎふしん サステナビリティ・リンク・ローン（以下、ぎふしん SLL）」が、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2022年版」に対して整合的であるとの評価を取得しています。

《ぎふしん SLL フレームワークに対する R&I の評価について》

[https://www.r-i.co.jp/news\\_release\\_suf/2023/03/news\\_release\\_suf\\_20230307\\_jpn\\_1.pdf](https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2023/03/news_release_suf_20230307_jpn_1.pdf)

**岐阜信用金庫は、ぎふしん SLL の融資フレームワークにて、CO2 排出量の削減を推進する木地光設備有限会社の資金調達を支援いたしました。**

【岐阜信用金庫の実施体制】



## 1. 申込人の概要

### (1) 事業概要

当社 HP : <https://kijimitsu.jbplt.jp>

- 木地光設備有限会社（以下、「当社」という。）は、水道工事業を主業とし、岐阜市の公共工事を中心に受注している。道路配水管工事から一般住宅の上下水道工事まで幅広く担っており、主力である水道工事業と土砂運搬事業を中核事業としている。
- 現状は上水道工事を主として受注しているが、その他、公共工事以外の民間工事（給排水設備）も受注し、幅広く水に関わる事業を展開している。

【許認可等】

岐阜市指定給水装置工事事業者

岐阜市下水道設備指定工事店

岐阜県知事許可（般-2）第 101489 号

#### <水道工事業>



- 重機、ダンプ車とともに現場に出向き、道路下の水道管まで掘削。水道管の入替や修繕等、各種水道工事を担う。
- 岐阜市の上下水道の本管工事では老朽化した水道管の耐震化計画に沿って、新しい水道管に交換している。
- 岐阜市内の老朽化した水道管の破損が原因で起こる漏水の緊急修繕工事を 24 時間 365 日対応している。

#### <土砂運搬事業>



- 当社は 10t ダンプ等の車両と建設機械を自社保有。
- 工事現場で発生する土砂や残土を埋め戻しできず処分が必要な場合は処理場への搬出作業を当社が請け負う。（産業廃棄物収集運搬業）

## (2) サステナビリティ

### 【地域におけるインフラ設備への貢献】

- 当社は上下水道工事を通じて、人々の生活インフラを整備している。
- 上水道工事を提供することで安心・安全な水の利用が可能となり、各家庭で水の使用を可能としている。また、下水道工事を提供することで各家庭の生活用排水が排水管を通じて下水道管へ流れ、適切な排水処理によりきれいな水として河川に放流される。当社の施工により地域の住みよいまちづくりへの生活インフラを支えるとともに環境汚染緩和に貢献している。

### 【環境への配慮】

- 環境性能に優れた油圧ショベル・車両の導入により環境負荷を低減する活動に取り組んでいる。

### 【社会貢献活動】

- 当社は地域の人々と共に歩む未来実現のために、事業活動以外において、積極的な社会貢献活動を行っている。取り組み事例としては以下の通り。
- ① 能登半島地震の際は被災地に出向き、上水道復旧工事を実施
  - ② 災害復興支援や地域の小中学校のスポーツイベントの際にはペットボトル飲料水を寄付
  - ③ 地元（岐阜市）の日野小学校に対し、運動が苦手な生徒やケガ防止に配慮し、高さ調節が可能かつバー部分は発砲チューブを使用した「ソフトドリルハードル」を寄贈。
  - ④ 各務原市那加第一小学校に「トレーニング用サッカーゴール」を寄贈。

①



②



③



④



## 2. KPI の選定

### (1) KPI の概要

- KPI は当社における売上高単位の CO2 排出量（原単位ベース）の削減率である。

## 3. SPT の設定

### (1) SPT の概要

- SPT は 2023 年 6 月期との対比で、2030 年 6 月期に CO2 排出量を 15.0%削減する。
- CO2 排出量の判定は、決算期ごととし、初回判定は 2025 年 6 月期とする。なお、基準年は 2023 年 6 月期とする。
- 当社の CO2 排出量の 90%以上は事業活動で使用する車両や建機等の燃料の消費によるものであり、本 SLL では当社が事業活動で使用する車両や建機等の燃料の消費により発生する CO2 排出量を SPT の基準とする。

SPT						
決算期	2025/6	2026/6	2027/6	2028/6	2029/6	2030/6
2023/6 期比 削減率	▲2.5%	▲5.0%	▲7.5%	▲10.0%	▲12.5%	▲15.0%

### (2) SPT の野心性

#### ① SPT の水準感

- 当社は、2025 年 6 月期より 2030 年 6 月期まで、2023 年 6 月期比で 2.5%/年の CO2 排出量削減を本ローンの SPT として設定した。
- 当社が事業活動で使用する車両や建機等の燃料の消費により発生する CO2 排出量を SPT の基準としていることより、2021 年 10 月に閣議設定された「地球温暖化対策計画」において示された、運輸部門におけるエネルギー起源 CO2 排出量削減量※を基準とした。  
※2030 年に 2013 年度比 35%削減（2013 年から 17 年間 35%、約 2.06%/年の削減）

#### ② SPT の達成手段

当社は SPT 達成に向けて以下に取り組んでいく。

- 建設用機械におけるエネルギーの転換（バイオディーゼル（BDF）の導入）  
➡岐阜県内企業が取り扱っているバイオディーゼル燃料の導入を検討
- 建設用機械や発電機等環境関連設備の省エネ化  
➡建設用機械、発電機の導入に際しては、一般財団法人省エネルギーセンターの省エネ最適化診断等を活用し、現状分析を実施した上で省エネ性能を考慮した設備投資計画を策定し、検討・実行

### ③ SPT の野心性

- 2023年6月期を基準として、2025年6月期から2030年6月期まで、毎年2.5%のCO2排出量削減を目標としている。年2.5%の削減目標は、SBTのScope3に求められる水準であること。
- 当社のSPTは閣議決定された「地球温暖化対策計画」において示された、運輸部門におけるエネルギー起源CO2排出量削減量（毎年約2.06%）を超える水準であること。  
以上より、十分に野心的である。

### (3) SPT の妥当性

- 岐阜信用金庫は当社との対話や提出資料に基づき、SPTを設定した。設定したSPTはぎふしんSLLの想定するCO2排出量削減率の基準を満たすものである。

### 4. ローン の 特性

- 優遇金利を前提とすることでCO2排出量削減を動機付けている。
- 当初から優遇金利を適用しているため、SPT達成時に追加で金利引き下げは行わない。
- 単期でSPTが未達成となったとき、目標を達成するための事業計画の作成を求める。
- 2期連続でSPTが未達成となったとき、融資金利を0.1%引き上げる。
- 以後、SPT未達成が続く限り、融資金利は引き上げられたままとする。
- 上記のようなローン設計により、貸出条件と当社のSPTに対するパフォーマンスが連動しており、SPTの目標達成のインセンティブとなっている。

### 5. レポーティング

- 当社は岐阜信用金庫に対し毎年1回、SPTの達成状況について報告する。

### 6. 検証

- KPIの実績値に関して、当社は第三者機関から検証を受けたレポーティング資料等を岐阜信用金庫に報告する。
- 岐阜信用金庫はレポーティング資料等の内容からSPT達成の判定について評価する。

以上